

刷新ポートフォリオ制作の記録

2023/08/07

273*/Kei

1. 制作した目的

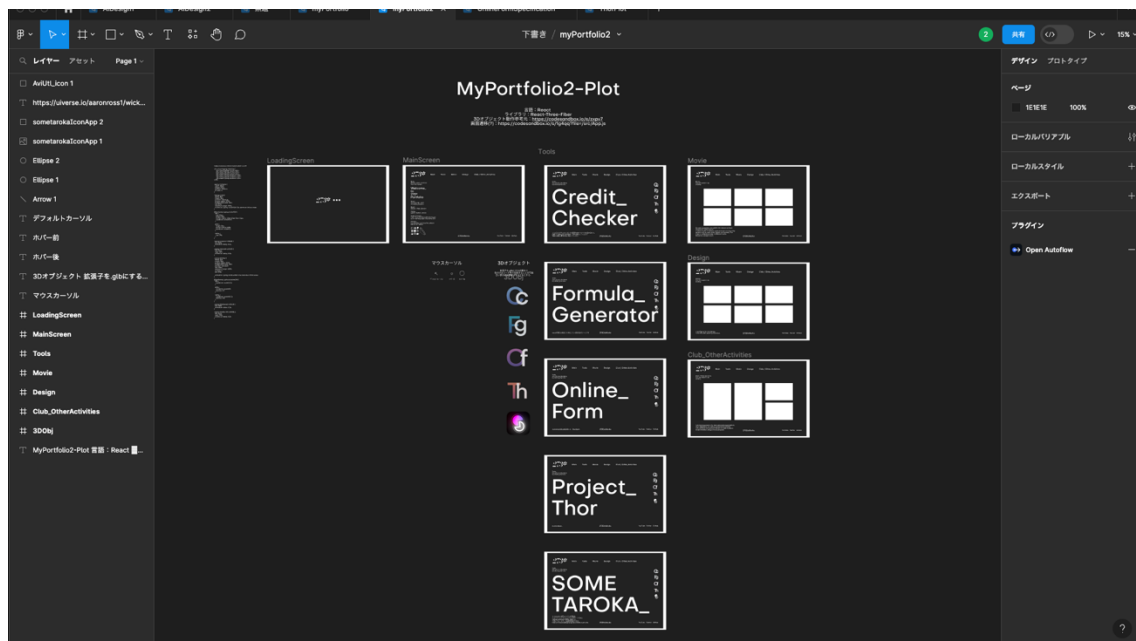
自身のポートフォリオとして、作品や制作物を紹介する場の作成，web に関する知識や運営，それに関する技術向上を目的としている．以前のポートフォリオを刷新することによって，昨今のトレンドであるモダンな技術を習得することを目的に制作した．

2. 開発期間

2週間

3. 制作について

はじめに Figma を用いて大まかなサイトデザインの設計を行なった．以前は GoogleColaboratory で Stable Diffusion v2.1 を用いて生成させたものを参考にしていたが，今回は自身で一から設計することにした．「目に優しい色」「テーマ切り替え」「3D モデルの使用」を考慮して設計した．以下はそのプロットである．



<https://www.figma.com/file/EYW0sq7Dpl3DGJfGZtESCh/myPortfolio2?type=design&node-id=0%3A1&mode=design&t=aTbdyMtgpRw3OjiR-1>

Tool ページではツールのロゴを 3D モデルとして動かす予定だった．

参考：<https://codesandbox.io/s/zxpv7>

次に、VSCode でコーディングを行っていく。今回は React を用いて制作した。

TypeScript を使用するか迷ったが、初めてだったので使い慣れている JavaScript を使用することにした。Tool ページの制作には 20 時間以上掛かったと思われる。上記の 3D 表現を実装する予定であったが、試行錯誤しても実装できなかったのこちら<https://codesandbox.io/s/lxvqek> を参考することにした。ツールを選択したり、テーマを切り替えた時に再レンダリングされるように工夫した。また、文字オブジェクトにはクリック判定を設けており、デモを試せるようにした。これらの実装、バグ修正をするのに膨大な時間がかかった。

Movie ページと Other_Activities ページには同じコンポーネントを利用している。それぞれの要素ごとにデータを用意しており、それを読み込むことで開発を効率化している。Tool ページやポップアップの表示なども同様である。React のいい部分を体感することができた。

```
56 const MovieData = [
57   { id: "mw1", title: "個人制作まとめ", imgPass: imgPass0 },
58   {
59     id: "mw2",
60     title: "[PVSF2022Sp] 出展作品",
61     imgPass: imgPass1,
62   },
63   {
64     id: "mw3",
65     title: "[第103回 限界映像大会] 出展作品",
66     imgPass: imgPass2,
67   },
68   {
69     id: "mw4",
70     title: "[PVSF Collaboration] 参加作品",
71     imgPass: imgPass3,
72   },
73   {
74     id: "mw5",
75     title: "[第30回 限界映像大会] 出展作品",
76     imgPass: imgPass4,
77   },
78   { id: "mw6", title: "[PVSF2022S] 出展作品", imgPass: imgPass5 },
79 ];
80
58 const OtherActivitiesList = [
59   { id: "oa1", title: "登録団体：宣伝ポスター(文字なし)", imgPass: imgPass0 },
60   {
61     id: "oa2",
62     title: "登録団体：イベントポスター",
63     imgPass: imgPass1,
64   },
65   {
66     id: "oa3",
67     title: "ピアノ",
68     imgPass: imgPass2,
69   },
70   {
71     id: "oa4",
72     title: "写真：カラーグレーディング",
73     imgPass: imgPass3,
74   },
75   {
76     id: "oa5",
77     title: "AviUtl[Blenderを用いた映像制作]",
78     imgPass: imgPass4,
79   },
80   {
81     id: "oa6",
82     title: "Figma[Stable Diffusion]Webデザイン",
83     imgPass: imgPass5,
84   },
85   {
86     id: "oa7",
87     title: "プラモデル無縁化：組み立て6実装",
88     imgPass: imgPass6,
89   },
90   { id: "oa7", title: "プラモデル無縁化：テスト", imgPass: imgPass7 },
91 ];
92
```

↑ Movie

↑ Other_Activities

```
34
35
36 path="/tool/credit_checker"
37 element=
38   <Tool>
39     text="Credit Checker"
40     desc=
41       ユニフォルムダウンロードした 成績表 PDFファイルを読み込むと自動で不足単位数や修得進捗がGPA表示して可
42     PTime("2週間")
43     color(["#79a4d3", "#4e6292", "#8a2be2"])
44     func(f)
45     img=(cc)
46   />
47
48
49
50 path="/tool/formula_generator"
51 element=
52   <Tool>
53     text="Formula Generator"
54     desc=
55       ボタンで操作する数式生成フォームでwordの数式の書式にも対応できる機能もあります
56     PTime("2週間")
57     color(["#3b8b6d", "#12387a", "#804458"])
58     func(f)
59     img=(g)
60   />
61
62
63
64
65 path="/tool/online_form"
66 element=
67   <Tool>
68     text="Online Form"
69     desc=
70       大学内生投票等の表示板です現在開発中でスレッド作成ができますDBの変更とReactに対応させます
71     // color(["#437ab6", "#7067b0", "#408229"])
72     PTime("3ヶ月")
73     color(["#ff9cf5", "#ff7eb3", "#408229"])
74     func(f)
75     img=(h)
76   />
77
78
79
```

←Tool

ロゴ：MyPortfolio の頭文字をとって Mp とした。Blender で制作。



4. 使用言語, ライブラリ, フレームワーク

今後使用するかもしれないので記録として残しておく。

デザイン：Figma, Blender

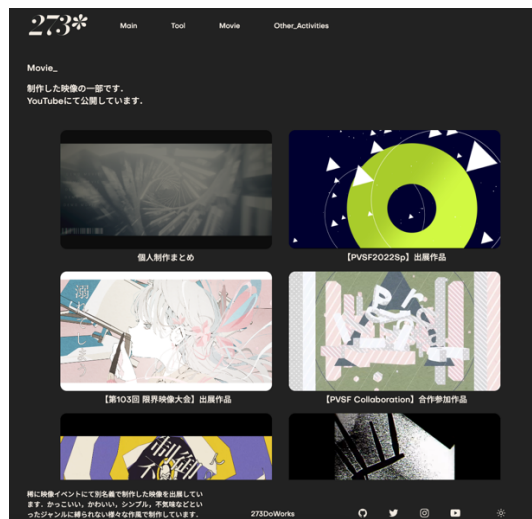
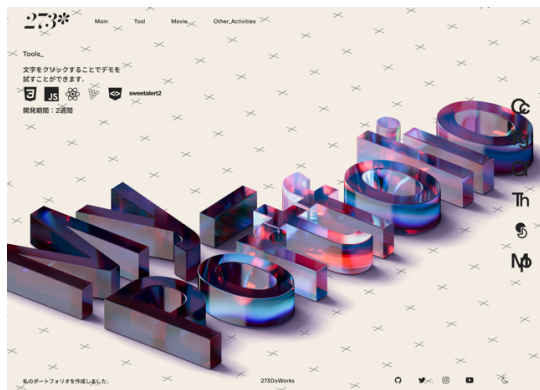
開発ツール：Visual Studio Code, Git, GitHub, Docker, FileZila

サイト系：HTML, CSS, JavaScript, React, react-router-dom

3D：three.js, pmndrs/branding, react-three(drei, fiber, postprocessing), leva

ポップアップ：Sweetalert2

アイコン：DEVICON, ionicons



5. 今後について

今回はポートフォリオの刷新として React の勉強を行なったが、各 hooks ほんの一部しか触っておらず、仕組みや使い方についてはまだまだ学習が必要である。また、Vue.js などの JS フレームワーク、サーバーサイドの処理や webAPI にも手を出していこうかと予定している所存である。